

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	阿南市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、30年以内に70%程度の確率で発生が予想される「南海トラフ地震」などの地震や津波災害に備え、地域防災計画で指定されている小学校等の周辺に避難施設の整備を行うと共に、子どもからお年寄りまで幅広く住民等の防災意識向上を図り、安全・安心な都市づくりを推進する。 ・沿岸部では、多くの住民が津波到達時間までに避難できないことが想定されるため、子どもからお年寄りといった幅広い世代の住民が安全に避難できるように施設整備を推進する。 ・関係機関が連携して行う合同点検結果を踏まえ、子どもなどが安全に避難できるよう、避難経路の安全対策を推進する。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	711	A	711	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	小学校等の周辺に避難地等の整備を行い、子どもやお年寄りなど、素早い避難行動が比較的困難な住民を含めて安全かつ速やかに避難できる人口を増加させる。 一時避難場所になる施設の収容人数	6700人	6880人	8330人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	阿南市	直接	阿南市	-	-	都市防災総合推進事業	(富岡東部地区)防災公園整備 (那賀川町工地地区)防災広場 整備	阿南市						711		-	
												小計						711		
											合計						711			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	阿南市	直接	阿南市	-	-	都市防災総合推進事業	防犯灯設置	阿南市						0	-	
		基幹事業(A13-001)の施設整備と一体的に実施することにより、地域防災力の向上を図る。																	
											小計						0		
											合計						0		

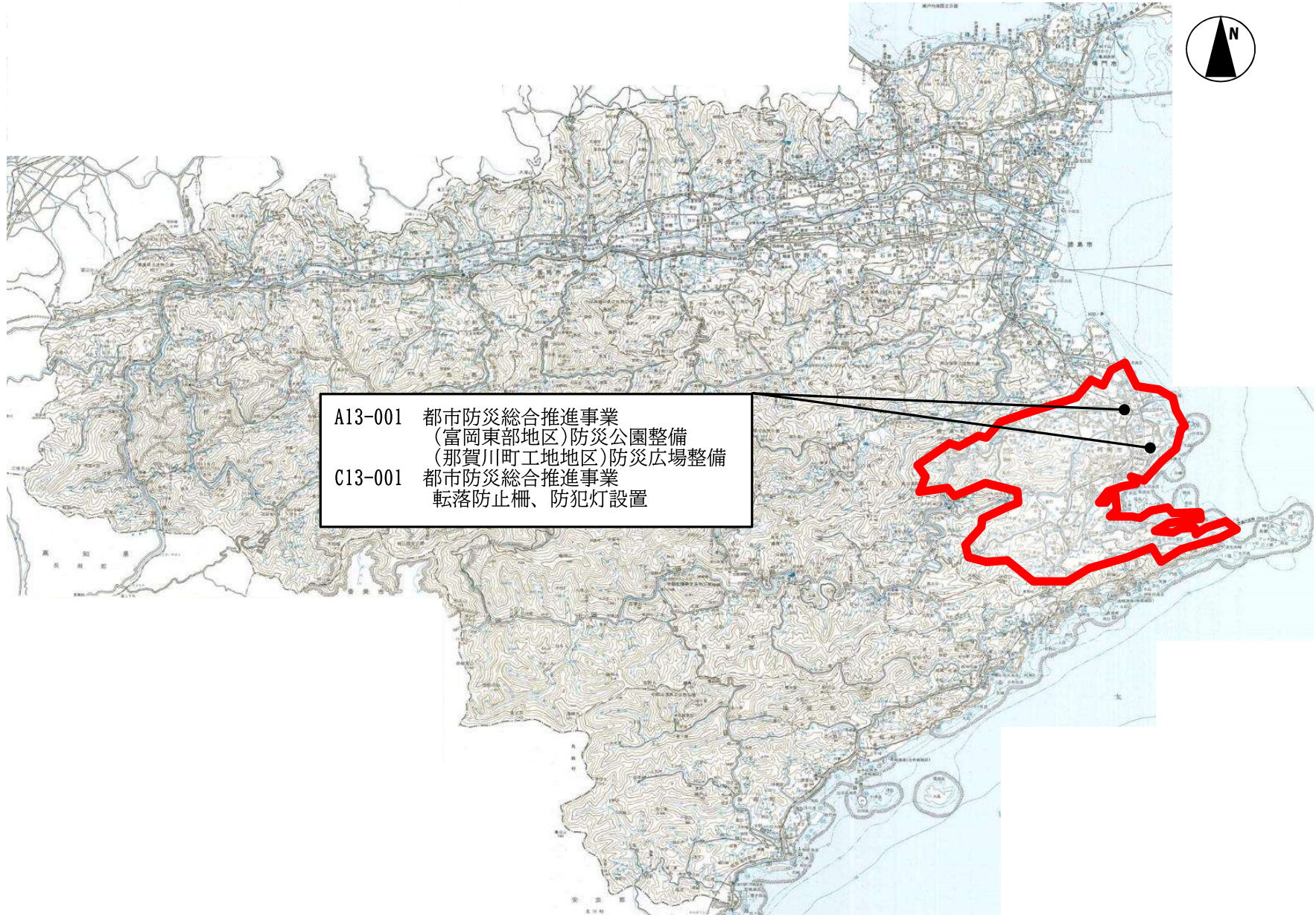
事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
特定事業部まちづくり推進課及び危機管理部危機管理課において、事後評価を実施	令和4年度
	公表の方法
	阿南市ホームページで公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>平成26年3月に公表した「阿南市津波避難計画」において、今回整備を行った2つの施設周辺は「緊急避難場所及び津波避難ビル等への避難が困難」とされる「特定避難困難地域」となっており、各施設の所在地となる「那賀川地区」「富岡地区」における「特定津波避難困難人数」は、各4,712人、7,160人で津波の到来により甚大な被害が予想された。</p> <p>令和3年3月に修正・公表した「阿南市津波避難計画」においては、「工地 命山(令和2年3月)」「富岡東部地区防災公園(令和4年3月)」が完成(「富岡東部地区防災公園」は、完成時の避難可能人数を考慮)したことなどにより、施設周辺の「特定避難困難地域」が解消され、市内の「特定避難困難人数」は0人となった。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<p>浸水区域外に避難可能な場所が不足しているため山切りによる造成を行った「富岡東部地区防災公園」、付近一帯が浸水区域であるため盛り土による造成を行った「工地 命山」において、「残土処分」「盛土材の購入」の費用は、事業費で大きなウエイトを占める。</p> <p>当初、各々別の部署で計画が行われていたが、社会資本総合整備計画で一体的に事業進捗を図る方針を定め、「富岡東部地区防災公園」で発生した残土を「工地 命山」での盛土材として積極的に利用したことにより、事業費の縮減に寄与した。</p> <p>また、盛土材の搬入計画と残土の搬出計画を一体的に行い、効率的な事業進捗を図った結果、事業効果の早期発現が可能となった。</p>
特記事項(今後の方針等)	
<p>市内の「特定避難困難人数」が、0人となったことにより、津波に対する一次避難場所整備は一定の効果が得られた。</p> <p>市内には、一級河川那賀川及び複数の二級河川の水系の河川が、縦横無尽に流れており、ひとたび「台風」「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」などによる大雨が発生すると、「河川決壊」や「内水氾濫」に伴う浸水被害も懸念されることから、市民に対し「発災時の避難場所」としての周知を図るソフト面の対策を進める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	一次避難場所収容人数	
	最終目標値	8330人
	最終実績値	8330人

(参考図面)

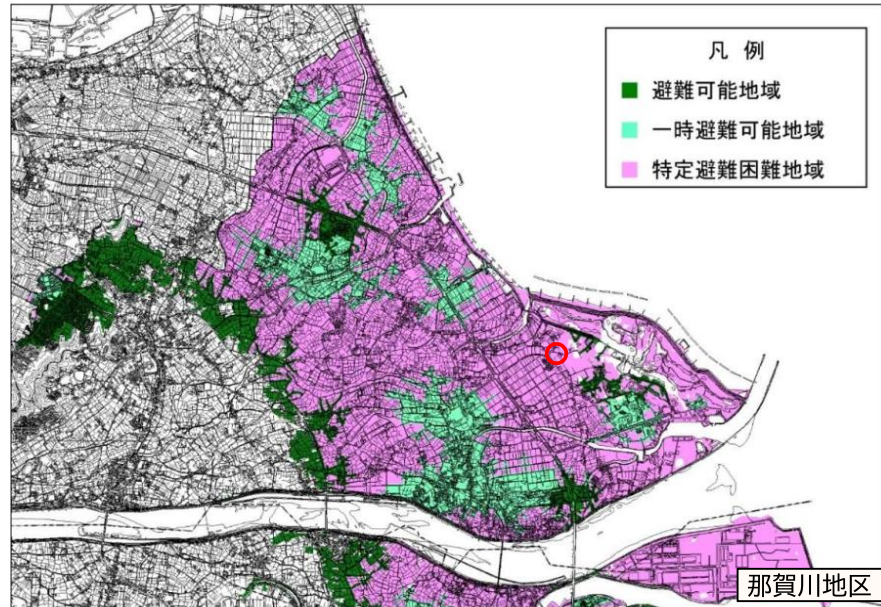
計画の名称	子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる災害に強いまちづくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)	交付対象	阿南市



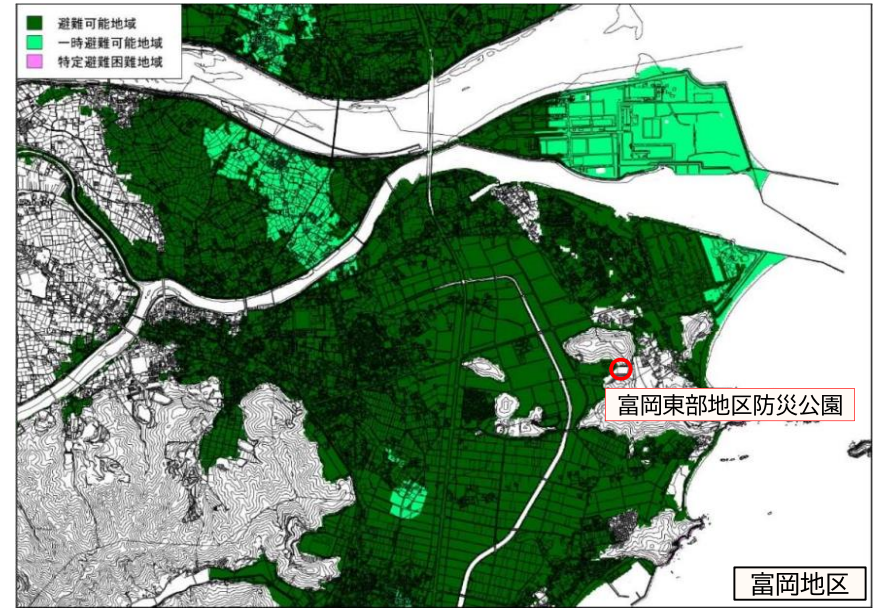
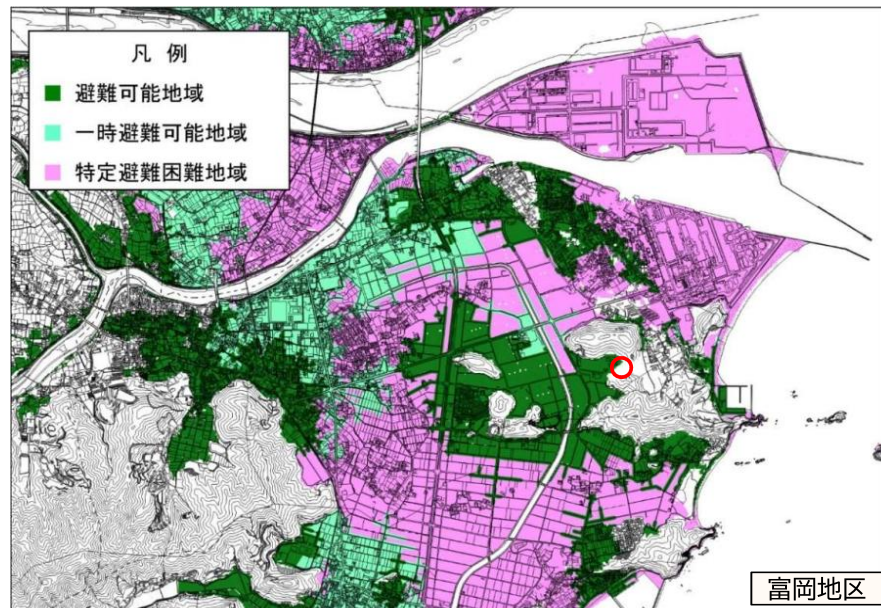
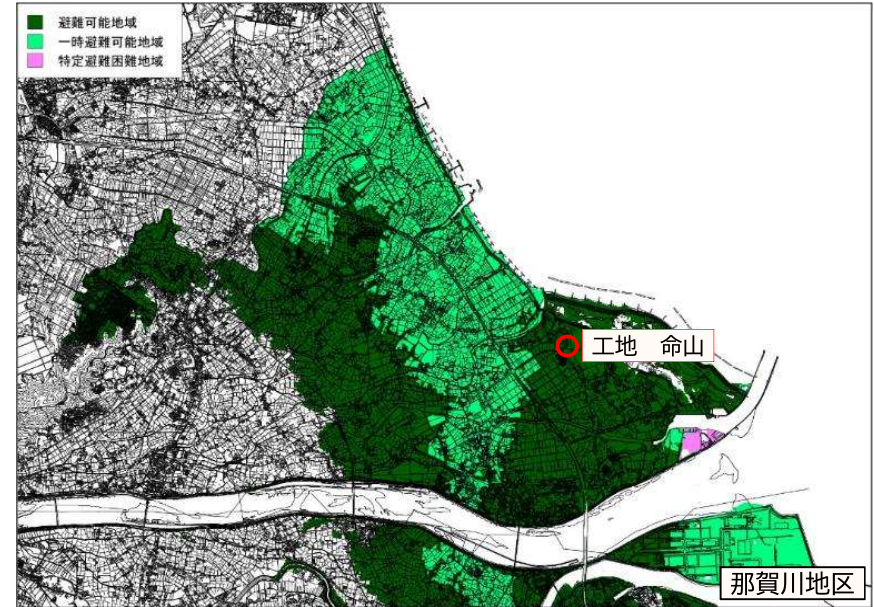
(参考資料)

計画の名称	子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～令和2年度（3年間）	交付対象	阿南市

阿南市津波避難計画(平成26年3月)



阿南市津波避難計画(令和3年3月)



(参考資料)

計画の名称	子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～令和2年度（3年間）	交付対象	阿南市

阿南市津波避難計画(平成26年3月)

地区	避難対象者数 (人)	居住人口 (夜間人口)	日中に人が集 まる施設に上 乗せした人数	特定 避難困難者数 (人)	特定 避難困難者率
那賀川	11,898	10,421	1,477	4,712	39.6%
羽ノ浦	4,138	3,922	216	3	0.1%
中野島	2,030	1,824	206	664	32.7%
宝田	96	96	0	0	0.0%
富岡	15,942	9,510	6,432	7,160	44.9%
見能林	13,230	10,153	3,077	1,792	13.5%
橘	3,214	2,637	577	234	7.3%
福井	1,080	1,019	61	2	0.1%
椿	456	358	98	3	0.6%
椿泊	577	557	20	0	0.0%
伊島	209	173	36	0	0.0%
合計	52,870	40,670	12,200	14,570	27.6%

※ 特定避難困難者率(%) = 特定避難困難者数 ÷ 避難対象者数 × 100

阿南市津波避難計画(令和3年3月)

地区	避難対象者数 (人)	居住人口 (夜間人口)	日中に人が集 まる施設に上 乗せした人数	特定 避難困難者数 (人)	特定 避難困難者率
那賀川	10,931	9,527	1,404	0	0%
羽ノ浦	3,835	3,286	549	0	0%
中野島	2,024	1,839	185	0	0%
宝田	126	126	0	0	0%
富岡	11,191	8,363	2,828	0	0%
見能林	11,742	9,585	2,297	0	0%
橘	2,417	2,012	405	0	0%
福井	1,037	826	211	0	0%
椿	352	290	62	0	0%
椿泊	453	440	13	0	0%
伊島	165	141	24	0	0%
合計	44,273	36,435	7,978	0	0%

※ 特定避難困難者率(%) = 特定避難困難者数 ÷ 避難対象者数 × 100